

COG
2017

chari P naVi



<https://bicycle.rakusaba.jp/>

モバイル対応アプリ 「chariP naVi」



私たちは、住民や観光客が京都の歴史や文化、伝統的な美しい街並みを自転車で楽しむためのサービスをデザイン！スマートフォン等のモバイル環境に対応した共創型公共サービス「chariP naVi」を考えました！

目的地までの
ルート案内機能

観光地レコメンド
照会機能

統計データの
可視化・分析機能



京都市オープンデータの活用による創意工夫を凝らした「共創型公共サービス」の提供！

chariP naViの主な機能

- ・ 駐輪場、レンタサイクルの所在地や空き情報、その他の様々な情報を収集・地図上で可視化
- ・ スマホで簡単便利！住民や観光客がすぐに検索・表示できる画面設計
- ・ 自転車ならではの新たな京都発見、点と点から線の観光につながるレコメンド(おすすめ)情報、ルート案内
- ・ 平時利活用、非常時の防災・減災機能
- ・ 京都市のみならず自治体オープンデータが公開されれば、容易に横展開可能な拡張性

コミュニティデザイン！

私たちは市や府と協力してのワークショップ開催など、事業者や大学も含めてオープンデータを介してコミュニティをデザイン！双方向での取組成果のシェアやフィードバックなど、多くの気づきを得ることができ、みんなで一緒に解決策を考えていくことが大切なんだと学びました。



chariP naViで使用しているデータ

- 京都市オープンデータ
駐輪場・レンタサイクルデータ、観光施設データ（いしづみ、観光見もの情報、旅館業法に基づく営業許可施設等）、行政施設LODデータ（図書館、保育園、福祉施設等）、地下鉄時刻表データ、安心・安全データ（AED、公衆トイレ等）など
- 政府統計データ
統計LODデータ
- ビッグデータ
観光地データ、バス停データ、自転車ショップデータ、交番データ、ATM、レストランデータ等

私たちのチャレンジはゴールではなく始まったばかり！こうしたコミュニティの輪を広げていくことが大切なんだわ！



如何にユーザーの本音に迫るか！徹底したデザイン思考とアジャイル



私たちは、徹底したユーザー目線からのアプローチが必要だと判断！SNSのデータ解析をはじめ、データを根拠としたブレインストーミング、ペルソナ設定、カスタマージャーニーマップなどから、利用者の本音に迫るとともに、ユーザーの視点に立ってプロトタイプとなるアプリを作成！フィールドワークやアジャイル開発でPPDACサイクルをループさせながら、解決策を考えました！



私たちが果てないループバックの末に気づいたこと！学んだこと！



行政に何でも任せきるのではなく、みんなで連携し、コミュニティをデザインしながら、

それが私たちの**共創型サービス**！



京都市との連携状況

立ち上げ前からの協働での取組・コミュニケーション

チームの中心メンバーである Code for Kyoto, 世界メッシュコード研究会が定期的で開催している例会にチーム結成以前から参加し、オープンデータの活用を中心に京都市として普段から市民の方と積極的に連携を進めています。

市民が設置した協働の場に専門家として積極的に参加

チャレンジ！オープンガバナンスへの京都市の課題提出を契機に、地域課題を解決するようなサービスをみんなで作るための市民参加型イベントが Code for Kyoto 主催で開催されました。(全3回)

このイベントに京都市も参加。周知・広報への協力はもとより、実際にワークショップやチームメンバーに加わり、行政としての専門家視点からアイデアをサポートしました。

●10月7日開催

チャレンジ！オープンガバナンス&アーバンデータチャレンジ 2017 キックオフ CodeforKyoto

●11月19日開催

京都市をITのチカラでよくするぞ！解決策検討編 Code for Kyoto Reloaded

●12月17日開催



プラットフォームとしての役割

駐輪場業者や大学等とのアイデアに関する協議や連携にあたって、京都市が橋渡し役となっており、関係機関との協議の場を設定しました。また、アプリ開発に必要なデータについても所管課との調整を京都市が中心となっており、その結果、必要なデータがオープンデータとして公開されました。

さらに、市民と行政をつなぐ Code for Japan の事業であるコーポレートフェローシップに京都市として参画。実際に来られたフェローの方にもチームに加わってもらい、行政と市民をつなぐ立場から様々な支援をしていただきました。

